



あしべつ

市議会だより

2023年
8月1日
No.28

芦別市議会ホームページ <https://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/shisei/gikai/>



荻原市長と共に議員全員集合（令和5年6月23日）

主な内容

- ◎特集／副議長就任・新任議員挨拶……………2
 - ◎6月定例会一般質問……………3〜6
 - ◎6月定例会の議決結果……………7
 - ◎所属党派と常任委員会の構成……………8
- 議会運営委員会の構成……………8

この度、芦別市議会議長に就任いたしました、北村真でございます。去る5月10日の臨時会におきまして、議長に就任させていただきました。誠に身に余る光栄であり、心より感謝いたしますとともに、その重責を痛感し、身の引き締まる思いでございます。

二元代表制の一翼を担う市議会といたしましても、市民の皆様との信頼と負託に応えるべく、緊張感を持って、さらなる市政の発展と市民福祉の向上、そして、公正かつ円滑な議会運営のため、全力で職責を全うする覚悟でございます。

芦別市の現状は人口減少と少子高齢化が進む中で、先行きの不透明感を感じる市民の方も多くいる現状であると認識しております。そのような中においても、基幹産業である農林業、地場の商業者の振興や、安心して暮らしていけるコミュニティの維持、また、将来に向けたインフラの投資など、諸課題を解決していくことで芦別市の将来を持続可能なものにしていかなくてはならないと考えております。

そのためにも、議長として何ができるのかと思いを巡らせたとき、市民の皆様の声に真摯に耳を傾け、多様なニーズを市政に反映させていくことであるとの考えに至りました。

議会は、市民の皆様のご代表として選ばれた議員が市政を牽引する場であり、私を含め、今回当選した芦別市議会議員11名全員がそれぞれの信念のもと、まちの発展と市民の皆様福祉の向上を追求し、活動しようとする意欲を持っていると確信しております。このように多様な議員がいる中で、決められたルールをしっかりと守りながら、今まで以上に公平な議論を進めていくことが大事であり、その結果として議会全体としての価値が最大化し、より多くの市民の皆様の声が市政に反映させることにつながると考えているところであります。議会と行政と市民の皆様との好循環を作っていけるように私自身努力してまいります。

結びになりますが、市民の皆様には、引き続き市議会に対し、格別のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。議長就任の挨拶とさせていただきます。



議長就任挨拶

芦別市議会議長 北村 真



副議長就任挨拶

芦別市議会副議長 石川 洋一

市民の皆様には、日頃より市議会の活動に対しまして、深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、市議会の一翼を担う副議長として、芦別130周年・市制施行70周年を迎える年に就任することになりましたことを大変光栄に存じますと共に、職責の重さに身の引き締まる思いであります。先進技術の進展や社会の多様性が求められる現代において、私たち市議会は新たな役割に直面しております。

コロナ禍によって私たちの生活は大きく変化しました。しかし、その経験を基に、より強固な地域社会の構築を目指し、アフターコロナの時代に向けて立ち向かっていかなければなりません。デジタル技術の発展は急速であり、私たち市議会もそれに対応しなければなりません。また、持続可能な未来のために環境保護や再生可能エネルギーの推進、社会的な課題に対する包括的なアプローチが求められております。市民の皆様と連携し、地域の課題に対して効果的な政策を実現していくことが必要と感じます。

これからも市民に信頼される議会を目指し、議会運営を推し進めてまいりますので、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



抱負

芦別市議会議員 竹内 真

芦別市民の皆様、この度、生まれ育ったふるさと芦別に市議会議員として貢献させていただくことになりました竹内真と申します。

私は、理学療法士として医療、介護、保健、福祉といった分野で働いてまいりました。私たちが行う理学療法とは①評価を行い②問題点を見つけ③目標を設定し④訓練（練習）を行い⑤その結果どうなったのか再評価を行うといった流れで進めていきます。これらはこれから行うまちづくりに共通するものがあると思っております。例えば①今までの芦別に足りないものは何か②それらの問題はどこにあるのか③その問題を解決するための目標④改善策の実行⑤実行したことは適切であったのか再考といったように、問題を解決するプロセスは似ているものがあります。大きな問題も本質を見失わないよう、少しでも下げ小さな問題の集合として考え、一つ一つ丁寧に向き合っていきたいと考えています。これからは今の環境に甘えることなく、奢ることなく、常に謙虚に、さまざまな問題に直面しても周囲の方の意見を仰ぎ、精いっぱい暮らしやすい芦別を創っていく決意です。皆様これからも竹内真に厳しくも暖かいご指導、ご鞭撻をいただきますようよろしくお願い申し上げます。



抱負

芦別市議会議員 清澤 茂宏

本年4月23日に執行されました芦別市議会議員選挙において、多くの皆様方から身に余るご支援を頂き、12年ぶりに議会へ戻ってきました。光陰矢の如しといいますが私も今年の誕生日を迎えると61歳となります。議会もメンバーを初めとして多方面で様変わりしているようですが、皆さんに遅れを取らぬように自分自身の進化を目指し、日々の議員活動に邁進していく所存です。

私はこの度の議員活動の目標を「今を暮らす市民のために」と決めました。今が幸せでなければ未来も将来も標榜できません、多くの皆さんが公平で平等な市民サービスを享受できるように、目の前の課題を解決するための提案と質問をしていきたいと考えています。

私は会派を結成せずに一人での議員活動となりますが、前述の目標を達成するために会派名を「こうせい」と名乗ります。厚生、公正、光星、攻勢……、皆さんが「こうせい」と聞いて思い浮かんだ漢字が、今、皆さんが市政に望むことだと思っております。質問する側と答弁する側の相反する二つの立場を経験したことを活かして、「後世」に繋がるような「今が幸せな芦別」を目指して活動していきますので、どうぞ変わらぬご支援と応援をよろしくお願いいたします。

6月定例会 一般質問

6月定例会 一般質問

公明党



松尾 達矢 議員

学校教育における課題と提案について

質問

環境への学びの取り組みについて伺う。

答弁

めたごみの減量、分別、再利用等について学んでいるほか、「クリーンデー」の実施、牛乳パックの回収、エコキャップ運動の取り組み、自然体験活動の実施、ごみ処理施設の見学など様々な取り組みを通じて、環境教育の充実に努めてまいります。

質問

学校給食のストロークス推進について伺う。

答弁

プラスチック製品の削減を図るとともに、令和3年8月よりストロークをプラスチック製から紙製に変更し、環境に配慮した取り組みを行っております。

質問

自殺リスクを早期に予測できる精神不調アセスメントツールを導入する考えはあるか伺う。

答弁

校長会の意見も参考にしながら、導入について

検討したいと考えております。
※その他に部活の地域移行の現状についても伺った。

本市の業務効率化と人手不足解消の取り組みについて

質問

「書かない窓口」実現に向けた現在の取り組み状況及び進捗状況について伺う。

答弁

デモ用システムを本年7月から1カ月間、試験的に使用し検証する準備を進めております。なお、国は、地方自治体における「書かない、待たない、回らない、ワンストップ窓口」を実現するため、ガバメントクラウド上にパッケージシステムを構築し、最遅で本年11月末には自治体での導入が可能となるよう進めていることから、市としてどのような取り組みが可能であるか今後検討したいと考えております。

質問

チャットGPTの導入及び活用について伺う。

答弁

現時点では市職員に対し、無料版チャットGPTの業務利用を控えるよう周知しているところでありますが、今後の国や道の対応を見極めながら、活用については慎重を期したいと考えております。

地域での支援を学ぶ取り組みについて

質問

市民ソーシャルワーカー養成講座の開催について伺う。

答弁

6月2日に星槎道都大との協定に従って設置する連携協議会で、同講座の開催について検討したいと考えております。

こうせい



清澤 茂宏 議員

芦別市財政の現状認識について

質問

現在の市の自治体規模における標準財政規模はどのくらいか伺う。

答弁

昨年12月に行われた令和4年度普通交付税の再算定の結果、本市の標準財政規模は61億8千万円余となりました。

質問

基金残高は標準財政規模の何%、または金額でどの程度を目安としているか伺う。

答弁

財政調整基金と備荒資金組合超過納付金を合算した留保資金残高を、標準財政規模の10%以上、6億2千万円以上確保することを財政運営の基本目標としております。

質問

現在の市の財政状況をどのように認識、または評価しているか伺う。

答弁

歳入では市税等の自主財源が減少傾向にある一

方、歳出では物価高騰や扶助費の増加、公共施設の老朽化対策などの増額要因が多く、地方交付税等の財源に頼った脆弱な財政構造に変わりないため、効率的・効果的な財政運営に努めなければならないと考えております。

近隣自治体との広域連携について

質問

この5年間、市として近隣自治体に広域運営の議論を持ちかけたこと、または持ちかけられたことはあったのか伺う。

答弁

現在進めている浄水場更新の検討にあたり、平成30年度に赤平市と事務レベルでの話し合いを行った経過がありましたが、近隣自治体から公共施設の広域運営について議論を持ちかけられたことはありません。

質問

今後、市として広域運営の議論をしなければならぬと考えている事案及び広域運営の取り進め方について伺う。

答弁

近隣市町と広域運営を行うことにより、市民サービスの維持・向上や、市民負担及び財政負担の軽減が期待できるものについては、意見交換しながら検討を行ってまいります。

携帯電話不感地帯及び地上デジタル放送難視聴地域解消について

質問

不感地帯、難視聴地域解消に向けた今後の取り組みについて伺う。

答弁

スマート農業の推進や災害時における安全確保のため、携帯電話の利用は必要不可欠でありますことから、今後、関係機関と協議したいと考えております。また、今後、地上デジタル放送の難視聴に関する要望や相談があった場合には、北海道総合通信局とどのような対応が取れるのか協議したいと考えております。

創政会



林 伸樹 議員

新たな移動サービスへの取り組みについて

質問

Maasの事業化として、デジタルプラットフォームの開発などが必要と考えることから、過疎化する地域における広域連携を含む取り組みとした協議会の設置について検討すべきと考えるが見解を伺う。

答弁

現状では、広域連携での取り組みとした協議会の設置は想定しておりませんが、ご提言として受け止め、芦別市地域公共交通会議での検討課題とさせていただきます。

遠隔診療の必要性について

質問

2040年を見据えた市立芦別病院の医療におけるモビリティサービスとした遠隔診療の見解を伺う。

答弁

遠隔診療は今後の在宅医療の充実に有用であると認識しておりますが、医療機器を搭載した車両の整備、導入に要する財源、遠隔診療を担当する医師の確保などの課題も含めて、研究してまいります。

質問

市立芦別病院の医療現場におけるDXとした、医師の負担軽減と患者の時間軽減としたオンラインによる問診などについて見解を伺う。

答弁

医療DXの代表的なものが電子カルテであり、メリットとして一般的に医療現場の業務効率化と患者さんの利便性の向上が挙げられていることから、限られた財源の中で医師を含む医療スタッフの負担軽減や患者さんの待ち時間短縮を図るためのシステム導入に向け、研究してまいります。

新しいオンライン服薬指導について

質問

遠隔診療での実施を含めた、オンライン服薬指導の実施について検討すべきと考え、遠隔診療のメリットを活かすために、薬局との連携とした医療Maasが必要であり、薬等を届けるための宅配システムの構築が必要であると考えるが見解を伺う。

答弁

本市は高齢化率が著しく、広大な面積を有することから、遠隔診療、オンライン服薬指導及び薬等の宅配システムは、将来において有効なサービスであると考えられるところからも、今後、関係機関と情報共有し、研究してまいります。

新星クラブ



新村 充 議員

移動期日前投票所の導入の考えについて

質問

過疎化が進み、投票所が統廃合され、最寄りの投票所がなくなれば、交通手段をもちたない有権者の中には、投票を諦める人も出てくる。また、人口減少に伴い、立会人2人の選出が大きな負担となっている地域もある。芦別市長選挙、市議会議員選挙の投票率を見ても、本市では全道平均より高い水準を保ってはいるものの、投票率は減少傾向にある。そうした課題を解決するために、島根県浜田市では、移動期日前投票所の取組を行っている。これは車自体を投票所にするアイデアであり、普通の車を投票所として機能させるため、同市は法的根拠、設備、二重投票の防止、風雨への対策という、4つの課題を解決した。山間部で、居住地が広範囲に分散している本市こそ、こうした取組が必要なのではないのか。移動期日前投票所を導入する考えはあるのか伺う。

答弁

さまざまな課題も多いことから、現状、導入する考えは持ち合わせておりませんが、地域住民の投票機会が拡充され、投票率の向上につながる有効な手段であると認識しておりますので、今後の研究課題とさせていただきます。

質問

本市の空き家バンクの情報をアットホーム空き家バンクへ掲載する考えについて

本市の空き家バンクにたどり着く人を考えてみると、まず全国の中から北海道を選び、空知地方を選び、そして芦別市に興味を持ち、ホームページにたどり着き、空き家バンクを閲覧する、といったプロセスだと思われる。訪れる数こそ少ないが、細かく選択肢を決めてきているので成約率も高くなる。一方、アットホーム空き家バンクは、移住する地域を検討している、もしくはほんやりと移住を考えている、とまだほとんど決まっていない方が訪れる。つまりは全く違う層にアプローチできる。現在は全国で693の自治体が参画しており、月間の最大ページビューでは174万PVもあり、多くの方が芦別市の空き家バンクを見る機会が作れる。公的不動産の掲載も可能で、サービス利用は無料である。本市の空き家

バンクの情報をアットホーム空き家バンクへも掲載すべきと考えるが見解を伺う。

答弁

移住に関心のある方に
対し広く本市の空き家情報
を提供することができ、移住につ
ながることが期待されることから、
具体的に検討してまいりたいと考え
ております。

創政会



大鎌 光純 議員

ヒグマ対策について

質問

市街地や民家、農地へ
のヒグマの出没に対する
認識について伺う。

答弁

人的被害が発生するリ
スクが高まり、また、農
業などの生産活動に大きな支障が生
じる恐れがあることから、その対策
は極めて重要と認識しております。
このため、現状、ヒグマの目撃情報
の通報から、声別警察署、市及び声
別猟友会が連携し、情報共有するこ
とで安全対策を図っておりますが、
人里への出没を防ぎ、人の生活圏に
近づかせないためにも、残飯や生ご
みなどの徹底した管理など、市民の
皆様の協力が不可欠なことから、北

海道ヒグマ管理計画の人身被害防止
人里への出没抑制、農業被害の軽減
のための方策なども連携させ、注
意喚起等を含めた情報提供に努めて
まいりたいと考えております。

質問

動物用自動監視カメラ
をけもの道に設置するこ
とにより、わなを仕掛けるポイント
選定に役立つのではないのか伺う。

答弁

動物用自動監視カメラ
の設置は、人家付近ある
いは農地などに頻繁にヒグマが出没
した場合、侵入経路の分析や捕獲に
向けた対策をはじめ、捕獲に至らな
かった場合でも出没形跡がないこと
を確認することで行動制限解除の判
断ができるなど、管内自治体での実
証結果から鳥獣対策に有効であると
承知しておりますので、今後鳥獣対
策の用途に適する機種や導入の方法
などについて調査研究してまいりた
いと考えております。

質問

クマ等の有害鳥獣が集
落付近や市街地等に出没
しないよう、ドローンを活用した取
り組みについて伺う。

答弁

ドローンを活用した取
り組みは、近年、道内各
地でヒグマが市街地周辺に出没する
など、以前と異なる行動形態が本市
でも見られた場合の対応に備える必
要があることや、遭難が発生した際
の行方不明者の捜索等にも有効なこ
とから、ドローンの操縦ライセンス
を持つ市内事業者とも連携しその活
用について検討してまいりたいと考
えております。

創政会



田森 良隆 議員

芦別高校について

質問

これからの芦別高校問
題についてどうされるの
かを考えを伺う。

答弁

今後も修学奨励費や通
学費助成などの支援を継
続するほか、高校の魅力づくりに向
けた取組を進めるなどして、現在の
普通科2問口の維持を図ってまいり
たいと考えております。

再質問

この10年余りで4問口
から2問口へと減り続け
ている。芦別高校の歴史と伝統であ
る「文武両道」が崩れ、現在では部
活もアルバイトもフリーになってお
り、最大の課題は高校存続と考える
このことについての見解を伺う。

再答弁

未来永劫存続すること
が重要と考え、財政的な
支援も含め、様々な対応を図ってま
いりました。お互いに危機感を共有
し、2問口の維持、確保に向けて議
論したいと考えております。

再質問

道立のため市教委が入
り込めないのなら、ここ
で提案する。芦別高校を市立化して
中学校を入れ、中高一貫校にすべき。

1問口目は国公立大学と大学の指定
校推薦を目指す特進科、2問口目は
スポーツや文科系で光る子ども達を
指定校推薦で進学させる文進体育学
科として、他校にない魅力ある高校
にすべきと考えるが見解を伺う。

再答弁

将来に向けた芦別高校
のあり方と対策について、
具体的にお話をいただき、それだけ
危機に迫った課題に対するご提言と
承知いたします。改めて問題提起な
どを真摯に受け止め、より具体的
な課題に向けた対策の検討をし、議
論の場を構築していきたいと考えてお
ります。

ドッグランについて

質問

道の駅のドッグラン整
備について、その後の進
展はあったか伺う。

答弁

現状では十分な面積が
確保できず、観光客の花
火観覧に支障があるほか、犬が吠え
ることを嫌う方や環境衛生面の維持
アルギー体質の方への懸念もある
ことから、都市公園の取扱いと同様
に道の駅に設置する考えは持ち合わ
せていないと伺います。

再質問

5点の理由を挙げて答
弁いただいたが、いずれ
もクリアできる問題だ。まちの愛犬
家、道の駅の利用者、観光協会、カ
あちゃん市のオーナーやつばさ農園
のオーナー全てが設置について希望
していると聞いているが、考えを伺う。

再答弁

他の自治体の道の駅、
公共施設としての維持管理や運営体
制などの事例を今後、調査研究して
いきたいと考えております。

日本共産党



松井 邦男 議員

まちづくり懇談会の特徴と市民周知について

質問

3年ぶりのまちづくり懇談会は、今後の市政と市民生活などに関わる重要課題がテーマであった。出された質問や意見の特徴と出席できなかった市民の理解のため広報チラシ等の周知について考えを伺う。

答弁

質問や意見の大半は、庁舎建設や浄水場更新で財源や市民負担を危惧するものでありました。広報チラシは回覧できるよつ対応を検討いたします。

新庁舎の併用時期と施設規模について

質問

①併用開始時期を令和13年から令和11年に早めた「状況の変化」②将来人口約6600人以下が想定されるもとで庁舎規模を令和5年とした理由を伺う。

答弁

①建物の老朽化が進んでおり、早期の整備が必要との判断と庁舎建設基金が予定額に達する見通しから開始時期を変更しました。②現庁舎の窓口機能の分散を集約し来庁者の利便性を確保するため、令和5年の職員数を想定した規模としております。基本計画を策定していく中で併用開始年度を見

越した職員数に置き換ええなどの精査をしてまいりたいと考えております。〈要望〉人口や職員数の将来大幅減少を見込み、考慮したコンパクトで将来増築できる木質のレガシーな庁舎建設への検討を求めます。

質問

更新費が当初の1.7倍の65億円余となったがこれ以上増えないのかについてと市民負担を抑える方策について伺う。

答弁

現在の物価や設備費の増加分に加え、令和6年度から工事発注までの3年間、平均5%の物価上昇を見込んでいることから、これ以上の増加は考えにくいところでありました。維持管理費の見直しや事業費を精査し、料金の抑制を図りたいと考えております。

市の財政と市民負担について

質問

庁舎と浄水場の大型公施設の併用開始が令和11年に重なるが、市民負担増の懸念についてと将来の市財政など、市民との共通認識を深める必要について考えを伺う。

答弁

両事業とも内容の精査段階であり、細部にわたって検討を深める中で、市民生活に多大な影響を及ぼさないよう丁寧な説明に努めます。

〈意見〉厳しい財政状況のもとでは浄水場更新をまず優先すべきである。

住民税均等割のみ課税世帯への支援について

質問

道は物価高騰生活困難の均等割のみ課税世帯に

臨時的措置を、近隣市でも独自の支援策を講じているのか市の対応を伺う。

答弁

国の低所得者支援枠は交付金の対象となる非課税世帯のみであり、市も限定して支給しましたが、今後、全市民に1万円の商品券配布などの事業を実施いたします。

〈意見〉異常な物価高騰のもとで、国は新たな支援枠を創設、道は異例な臨時措置を講じており、それらを踏まえた対応を強く要望する。

無所属



若松 市政 議員

農業について

質問

農業の生産資材や暖房費の高騰等による本市の農業経営者への影響について伺う。

答弁

JAたぎかわに確認しましたところ、農業生産資材の物価高騰による厳しい経営状況は続いているものの、今年の営農開始にあたり、経営状況の悪化を理由とした離農者はいないと伺っております。

質問

荻原市長が就任して以来、新規の農業担い手は

答弁

平成29年以降の新規就農者数は15人で、その内

訳は農家子弟であるUターンによる就農者が12人、1ターンによる就農者は第三者農業経営継承者が2人、農業法人構成員が1人の計3人で、うち2人が地域おこし協力隊からの新規就農者となっております。

質問

新規の農業担い手確保に向けた具体的な方策について伺う。

答弁

本年度は道内外で開催される、北海道新規就農フェア及び北海道移住交流フェアに参加・出展し、本市の農業等を広く知っていただき、新規就農や農業法人への就農につなげていくためのPR活動を実施してまいりたいと考えております。

市総合庁舎整備について

質問

新総合庁舎建設にあたり、何を基準に35億円がはじき出されたのかを伺う。

答弁

本構想では、令和5年1月の職員数を基に国土交通省の基準により算出した面積に一般的な庁舎建築コスト情報による工事単価を乗じて算出してあります。

質問

新総合庁舎建設の財源35億円をどのように確保するのかを伺う。

答弁

地方債で22億4,700万円、庁舎建設基金で12億5,300万円の活用を考慮しているところであります。今後においては、環境省の省エネルギー建物の建設に対する補助金や林野庁の木材の利用促進に係る補助金など、新庁舎建設に活用できる補助金の情報収集を行い、活用の検討をしてまいりたいと考えております。

6月定例会 議決結果

◆6月定例会の議決結果

6月16日、令和5年第4回市議会（定例会）が招集され、会期を26日までの11日間と定めて令和5年度補正予算、条例制定・改正・廃止、人事案件などが審議されました。議決結果は以下のとおりです。

■全員賛成の議案

議案	件名	結果
補正予算	一般会計（第5号）	原案可決
条例制定	産後ケア事業費用助成条例	原案可決
条例改正	税賦課徴収条例	原案可決
〃	市立学校設置条例	原案可決
〃	市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例	原案可決
〃	就学援助費支給条例	原案可決
〃	こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決
〃	議会の議決に付すべき重要な公の施設の利用又は廃止に関する条例	原案可決
条例廃止	芸術文化交流館条例	原案可決
〃	市営牧場条例	原案可決
人事案件	監査委員の選任 （被選任者：岩花永喜氏）	同意
〃	固定資産評価審査委員会委員の選任 （被選任者：畠山優喜氏）	同意

事件	件名	結果
人事案件	固定資産評価員の選任 （被選任者：高橋俊之氏）	同意
〃	農業委員会委員の任命 （被任命者：石尾豊氏ほか15名）	同意
その他	市民会館大ホール舞台照明設備の取得	原案可決
〃	小形除雪車（ロータリ）の取得	原案可決
〃	ごみ収集車（パッカー車）の取得	原案可決
〃	スクールバスの取得	原案可決
〃	公の施設の指定管理者の指定（芸術文化交流館）	原案可決
報告案件	法律上市の義務に属する損害賠償の額を定めることの専決処分	報告済
〃	放棄した私債権	報告済
意見書	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書	原案可決
〃	安心して必要な介護が受けられるように制度の改善を求める意見書	原案可決
〃	生物多様性の保全・ネイチャーポジティブの対策の強化を求める意見書	原案可決
〃	特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書	原案可決

■賛否が分かれた議案

○：賛成、×：反対、△：退席、欠：欠席、／：採決なし、議：議長

事件	件名	結果	大鎌光純	林伸樹	田森良隆	新村充	竹内真一	石川洋一	松井邦男	若松市政	清澤茂宏	松尾達矢	北村真
補正予算	一般会計補正予算（第4号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議

議会をインターネットで生中継

芦別市議会
YouTubeチャンネル



本会議の様子を、動画配信サイトYouTube（ユーチューブ）で生中継いたします。

過去に開催された本会議、常任委員会、特別委員会も視聴することができますので、ぜひご覧ください。



議会の動き

令和5年5月上旬～令和5年7月下旬

〔5月〕

- 2日 議会代表者会議
- 9日 議会代表者会議
- 10日 第3回市議会(臨時会)
- 18日 北海道市議会議長会道央支部協議会
(芦別市開催)
- 25日 中空知衛生施設組合議会
第1回臨時会(滝川市)
- " 石狩川流域下水道組合議会
第1回臨時会(滝川市)
- " 滝川地区広域消防事務組合議会
第1回臨時会(滝川市)
- 26日 中空知広域市町村圏組合議会
第1回臨時会(滝川市)
- 29日 全国自治体病院経営都市議会協議会
第51回定期総会(東京都)
- 30日 北海道市議会議長会第86回定期総会
(札幌市)

〔6月〕

- 2日 空知教育センター組合議会
第1回臨時会(滝川市)
- 9日 議会代表者会議
- " 議会運営委員会
- 14日 全国市議会議長会第99回定期総会
(東京都)
- 15日 市議会議員共済会第126回代議員会
(東京都)
- 16日～26日 第4回市議会(定例会)
- 22日 総務常任委員会
- " 議会代表者会議
- " 議会運営委員会
- 23日 社会産業常任委員会
- 25日 第69回北海道消防協会空知地方支部
中空知分会連合消防演習(滝川市)
- 26日 新総合庁舎整備特別委員会
- " 議会改革特別委員会
- " 広報広聴委員会
- 27日 行政視察受入(山形県南陽市議会)

〔7月〕

- 2日 令和5年度芦別消防演習
- 5日 議会代表者会議
- " 中空知ふるさと市町村圏議員交流会
(歌志内市・赤平市)
- 6日 行政視察受入(秋田県横手市議会)
- 12日 行政視察受入(長崎県松浦市議会)
- 13日 広報広聴委員会
- 21日 広報広聴委員会
- " 議会改革特別委員会
- 27日 行政視察受入(秋田県湯上市議会)

委員 竹内 真、松井 邦男
副委員長 大鎌 光純
委員長 松尾 達矢
芦別市議会広報広聴委員会

いと思ひます。
◇ (松尾)
芦別市議会広報広聴委員会

所属会派と常任委員会・議会運営委員会の構成

◎は委員長、○は副委員長

所属会派	常任委員会		議会運営委員会
	総務	社会産業	
創政会	田森 良隆 北村 真 ※議長は両方に所属	◎林 伸樹 大鎌 光純 北村 真	◎大鎌 光純 林 伸樹
新星クラブ	◎新村 充 竹内 真	石川 洋一	○新村 充 竹内 真
日本共産党	○松井 邦男		
無所属	若松 市政		
こうせい		清澤 茂宏	
公明党		○松尾 達矢	

◆総務常任委員会

防災や総合計画、財政、行政改革、税務、学校教育、生涯学習、図書館、百年記念館、総合体育館などを調査します。

◆社会産業常任委員会

環境や保健、福祉、介護、子育て支援、商工観光、農林業、上下水道、都市計画、住宅などを調査します。

◆議会運営委員会

議会運営を効率的に行うため、市議会開催前や開会中必要に応じて集まり、議事の取り扱いや審議方法などについて審議します。

9月定例市議会のお知らせ

- 会 期 9月7日(木)～21日(木)
- 日 程 7日(木) 本会議(議案の提案)
11日(月)・12日(火) 本会議(一般質問)
13日(水)・14日(木) 常任委員会
15日(金)・19日(火)・20日(水) 決算審査特別委員会
21日(木) 本会議(議案の議決)
- 開会時間 いずれも午前10時から

※日程・時間は、議会運営上変更する場合があります。



編集後記

春の統一地方選挙が終了し、新体制となった初の議会だよりの発行となりました。今回は正副議長の挨拶と新人議員の抱負を載せてあります。

5月からは、コロナが5類に引き下げられ、日常生活が徐々にコロナ前の状態へと戻りつつあります。市内外でイベントが再開され、我々の市では「健夏まつり」が開催され、市民の皆様の笑顔が再び見られるようになりました。

まだ始まったばかりの「アフターコロナ」の時代では、働き方改革、教育のデジタル化、テレワークやオンライン会議の一般化、非対面型のサービスの拡大といった変化が進行していると考えられます。これらの変化は、人々の生活スタイルや働き方に対して大きな影響を及ぼし、さらには社会全体の運営方法にも影響を与える可能性があります。

感染が下火になったとはいえ、コロナへの警戒を緩めることなく、夏の暑い夏に向けての体調管理にも十分注意を払うことを推奨したいと思います。